

Nutrition Support Times



スクリーニングの重要性

2010年度のスタッフ勉強会が始まりました。まずはスクリーニングについて。この重要性については誰もがすでに理解されているはずですが、実際のところきちんと機能しているのでしょうか？栄養障害がありそうな患者を早く見つけること、今後栄養状態の悪くなりそうな患者を拾い上げることができているのでしょうか。なかなかゆっくりやってくる低栄養は気づきにくいこともあります。この疾患だから仕方ないとほって置かれることもあったり、経口摂取がすすまない患者の定期的な体重測定がされず体重減少がすすみ、とんでもない栄養不良になっているケースもあるようです。主治医が栄養はこれぐらいでいだろうと安易な気持ちで考え、その科の疾患の治療に没頭している間に忍び寄る栄養不良に、誰が気づくのか。スクリーニング体制をきっちり作っていくとは本当に大切なことです。本来患者の状況が変わるたび、定期的にスクリーニングは行われるべきものですが、日常の忙しい毎日の中でどのように実施していくか、これは全NSTのメンバーが中心となって考えていくべき宿題だと思います。入院されている患者方はその担当科の患者としてではなく、病院の患者としてみんなで診ていくことが必要だと思われま。是非これからも一緒

に勉強して全人的な医療、チーム医療を充実させていきましょう。毎月第3水曜日 18:00からはスタッフ勉強会の日です。みんな参加してください。



スタッフ勉強会予定

月日	内容	担当
6/16	(イ) 栄養障害例の抽出・早期対応(スクリーニング法)	看護師
7/21	(ロ) 栄養薬剤・栄養剤・食品の選択・適正使用法の指導	管理栄養士
8/18	(ヘ) 経腸栄養剤の衛生管理・適正調剤法の指導	看護師
9/15	(ト) 経腸栄養・経口栄養のプランニングとモニタリング	管理栄養士、臨床検査技師
10/20	(チ) 簡易懸濁法の実施と有用性の理解	薬剤師
11/17	(リ) 栄養療法に関する合併症の予防・発症時の対応	東別府

さっそく暑い日対策

入梅し、むし暑い毎日が続いています。暑い日が続くと脱水を起こす人たちがたくさんいます。そうなる前の対処はかかさずに行わないといけません。でも、そんなことになってしまったら、かなり以前より言われていることですが、経口補水液の摂取が進められています。よくスポーツドリンクと比較されますが、スポーツドリンクは、あくまでも健康な人ののどの渇きや、軽いスポーツの時の水分補給に適しているもので、電解質濃度は低く、糖分は多い組成になっています。脱水状態の改善には向いていません。じゃあ家庭で経口補水液をどうやって摂ればいいのか。最近ではOS-1というのが薬局などで売っていますが、おうちでも簡単に作ることができます。下に作り方を示します。

(材料)

砂糖 40g (上白糖大匙 4.5 杯)

食塩 3g (小匙 0.5 杯)、湯冷まし 1ℓ

よく溶かし、果汁を絞って混ぜるとおいしく、飲みやすくなります。

暑い日中にスポーツなどをされるなら、冷蔵庫で冷やしたものを持参することがいいでしょうね。また、下痢や嘔吐を伴うような感染性の胃腸炎などのときも、飲用することが勧められます。

病院でも術前術後の水分・電解質管理にも用いられるようになってきています。早期回復のため消化管をより早く使うためのアイテムとして当院でも使われる日がくることが望まれます。



NCM 講演会予定



月日	内容	担当
6/24	がんと栄養	東別府先生
7/22	アセスメント	未定
8/26	経腸栄養&試飲会	未定
10/28	経静脈栄養	未定
11/25	肝障害と栄養	未定
H23/1/27	腎障害と栄養	未定
3/24	PEGについて	未定

NSTカンファレンス・回診

毎週水曜日 pm1:00~ 8北(861)NSTカンファレンスルーム